

## 事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	子育て土壌育成事業	コード	102101
-------	-----------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 生涯学習課（生涯学習活動センター）	作成者 小口 明彦
--------	--------	----------------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	生涯学習の推進	施 策	青少年の健全育成
		予算科目	子育て土壌育成事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	子どもと親が共に成長するため、地域住民や関係団体等が協力し、話し合いを行い、係わり合う中から互いに支えあって子育てができる「子育て土壌づくり」の推進を図る。			
目的	対象者	乳幼児、親		
	意 図	安心して子育てができる「子育て土壌づくり」の推進。		

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>1. 地域子（己）育てミニ集会連絡協議会          総会、情報交換会を各2回開催し、ミニ集会の取り組みなどの情報交換、推進責任者同士の交流を図った。          通常総会 4月22日（月） 事業計画、予算、情報交換          第1回情報交換会 8月29日（木）          第2回情報交換会 11月20日（水）          臨時総会 3月26日（水） 事業報告、決算・監査報告、新年度役員の承認</p> <p>2. 広報誌「ミニ集会だより」の発行          各区で行った代表的な活動を写真入りで紹介する広報誌を発行し、各区や関係団体に配布した。</p>				
前年度の課題への対応	特になし			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	地域子（己）育てミニ集会実施回数			単位	回
	実績値	626	692	583	
	*指標の説明	各地区で開催されたミニ集会回数			
② 成果指標（指標名）	地域子（己）育てミニ集会参加者数			単位	人
	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000
	実績値	19,655	20,499	16,876	
	達成度	98.3%	102.5%	84.4%	
	*指標の説明	各地区で開催されたミニ集会に参加した人数			
*目標値の設定方法の説明	前年度実績に基づき設定				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	1,027,728	428,600	448,750	468,000
経常経費	400,050	428,600	448,750	468,000
臨時的経費	627,678	0	0	0
* 臨時的経費の説明				

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
正規職員の人数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20
③ 合計コスト(①+②)	2,627,728	2,028,600	2,048,750	2,068,000
前年度比		77.2%	101.0%	100.9%
財源内訳				
一般財源	2,627,728	2,028,600	2,048,750	2,068,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	3,195	2,932	3,514	
前年度比		91.8%	119.9%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
乳幼児親子ふれあい事業補助金	件数	27	25	26	28
	金額	400,050	395,000	410,000	464,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	400,050	395,000	410,000	464,000
	割合	38.93%	92.16%	91.36%	99.15%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

低い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	82.3%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	84.4%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 特になし	
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
改善方法		
改善開始時期		

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	C
-----------	--------	---	---